

授業科目 筋生理学

【担当教員名】 笹井 宣昌	対象学年 開講時期 単位数	2 前期 1	対象学科 必修・選択 時間数	理学 必修 15
<p>【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】</p> <p>本講義では、骨格筋の構造や機能に関する基本事項について学習する。骨格筋が身体運動における動力源として働くことは、説明するまでもないであろう。また、骨格筋が運動により鍛えられ、逆に不使用により衰えることも、よく知られたことであろう。</p> <p>では、「それらの現象は、どのようなメカニズムにより発現しているのだろうか？」この点について理解を深めることは、ヒトの身体活動や健康を理解するために役立つであろう。</p>				
<p>【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】</p> <p>「運動と骨格筋」、或いは「運動による骨格筋の適応」といったことを念頭に、骨格筋における構造－機能の連関や、可塑性変化について認識する。さらに、それらに関わる細胞・分子メカニズムをかいま見ることを目指す。</p>				
回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
	<p>集中型で行うに当たり、次のテーマを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 筋収縮と構造 2. 筋収縮の調節 3. 筋収縮のエネルギー 4. 肥大と過形成 5. 萎縮 6. 活動性と遺伝子発現調節 7. 加齢変化 <p>* 尚、時間内に小テストを実施する。</p>		番号	<p>学習方法・学習課題又は備考・担当教員</p> <p>講義と演習</p>
【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	現代の体育・スポーツ科学 運動と筋の科学、勝田茂 編、朝倉書店、2000年			
その他の資料				
【評価方法】 出席と小テスト。	<p>【履修上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒、及び赤色のボールペンを持参して下さい。小テストで使用します。 ・ 本講義は集中型で行います。 			